Digital Signage TREND EYES

TISSOT BOUTIQUE GINZAがBlackSMD採用LEDディスプレイ導入。

▲「TISSOT BOUTIQUE GINZA」(東京都中央区)に導入されたLEDビジョン。

LEDビジョンと自然素材を組み合わせることで演出効果を高めた

世界的な時計企業であるスウォッチグループ(SWATCH GROUP)傘下のスイスブランド「TISSOT(ティソ)」は2021年1月30日、東京・銀座中央通りに面したニコラス・G・ハイエックセンターの地下1階に「TISSOT BOUTIQUE GINZA(ティソ ブティック銀座)」をオープン。同ブティック内、中央のエレベーター周りにはLEDビジョンが設置され、TISSOTのプロモーションビデオの放映を行っている。

今回、LEDビジョンを納入したセキシン電機(株)は『スウォッチグループジャパン様のTISSOT銀座旗艦店の出店にあたり、ハイライトエリアでの映像演出が企画され、(そのツールとして)当社のLEDディスプレイを採用いただきました。また、通常のLEDビジョンとしての用途に加え、ビジョン間に自然素材を組み合わせることで、銀座店独自の演出効果を高めています』と話す。

TISSOT BOUTIQUE GINZAのLEDビジョンは、LED素子に3 in 1 BlackSMD(3.2mmピッチ、輝度は最大1,000cd/㎡以上で100段階での調整が可能、フロントメンテナンス方式)を採用、高コントラストを実現している。筐体は軽量・薄型仕様のため、設置工事も容易に行えたようだ。

また、映像はスウォッチグループジャパンの要望により、専用ソフト内のスキップ機能を採用しているという。

なお、同店舗に導入されたLEDビジョン(W256mm×H288mm/1パネル)は、W288mm×H2,560mm(4面)とW576mm×H2,560mm(2面)の計6面(総面積:W2,304mm×H2,560mm)で、これら全てが一括制御により運用されている。

■ 所在地
東京都中央区銀座7-9-18
ニコラス・G・ハイエック センター B1F
■ 運営
スウォッチグループジャパン(株)
■ 設計・デザイン
sync Inc.
Studio Ipsilon
■ 製品製造
セキシン電機(株)

LEDビジョンはブティック内中央のエレベーター周りに設置、TISSOTのプロモーションビデオを放映している。